

令和元年度 中央区立佃島小学校 外部評価報告書

評価委員：小島泰明委員、松井弘委員、鈴木猛夫委員、青柳聖真委員 大倉清子委員

評価時期 令和元年 2月

1 総括的意見

(1) 重点目標1の「豊かな社会性、人間性の育成」について

- ・学校経営方針の第一に「あいさつの励行」を掲げ、代表委員会を中心に輪番で玄関に立ちあいさつをするという「あいさつ運動」に継続的に取り組み、成果を上げつつある。教職員自身あいさつの大切さを忘れず、範を示すことが大事である。また、児童の悩みの相談を担当だけでなくスクールカウンセラーとも行っている。そのことの様々な方法があることを発信していく事も大切である。

(2) 重点目標2の「基礎基本の確実な定着」について

- ・基礎基本の定着を図るために「個に応じた指導の充実」を最重視している。その結果、保護者の85%が肯定的な評価をしており、ほぼ目標は達成されていた。ICTも導入されていく事を踏まえ、新たな視点も踏まえながらの授業改善に関わる研究実践が継続されることを期待する。

(3) 重点目標3の「生涯を健康に過ごす素地の育成」について

- ・今年度はマラソン大会が大規模改修の影響もあり実施できず残念だった。次年度は、マラソン大会を行うとのこと。今後、機会づくり、持続性の視点からの改善を期待する。

2 今後の改善に向けた意見

- (1) あいさつ運動も含め、地域の力を生かした教育活動の模索する必要がある。
- (2) 毎年年度末になると出席率や、児童の悩みも出てくる。児童や保護者に寄り添いながら、さらなる管理職のリーダーシップと教職員の組織力向上をお願いしたい。
- (3) 児童の悩みや不安により寄り添い、問題を早期に発見し見逃さず対応できるための環境作り、そして、校内体制のより一層の確立を目指す必要がある。

3 その他の意見

- (1) 学校、保護者、地域の連携が大切である。引き続き、継続を望む。